

昨年「さわやか登山教室」で九重連山の星生山に登ったときの一枚。一緒に登った人たちと美しい風景を分かち合えるのは素敵なことだと大塚さんは語る

Public relations  
OZU TOWN

Proud!  
東日本大震災の復興を支援しよう  
Japan

大津のことがもっと好きになる情報誌

広報  
**おおつ**

広報 おおつ 2013 7

発行・編集 ■大津町・企画課  
〒869-1292 熊本県菊池郡大津町大字大津 1233 番地  
TEL.096(293)3111 <http://www.town.ozu.kumamoto.jp/>  
※広報おおつは随時更新して発行されたいです。

JFD  
FONT  
厚やすく読みまちがえにくい  
ユニバーサルデザインフォント  
を採用しています。

私は大好きな家族  
と友達とこの町に  
育てられた

おおつかまりこ  
大塚麻里子さん (室)

国際交流協会のユース部リーダー、そして  
野外活動研究会の会員でもある大塚麻里子さ  
んは、それぞれの団体で多くの活動に参加し  
ている。今回はそんな大塚さんに話を聞いた。

大塚さんが国際交流協会の会員になったの  
は、中学生の時に町のホームステイプログラ  
ムに参加したことがきっかけだった。「このと  
きの経験がなければ今の自分はいません。そ  
して、そんな経験ができたのは、周囲や町の  
サポートがあったから。だからこそ、町に恩  
返ししたいと思います」と大塚さんは言う。

国際交流協会の活動を通して、人種も老若  
男女も問わず、いろいろな人と触れ合うこと  
ができたという。「さまざまな経験や価値観を  
持つ人と交流するのはすごく楽しいです。そ  
れに、いろいろな人と付き合っていく中で、  
自分がどういう人間なのか知ることでもでき  
ると思います。人が好きなんですよね。人と関  
わっていたいんです」と笑みを浮かべた。

大塚さんは、野外活動研究会(通称「野研」  
の会員でもある。野研は月に一度、県内や九  
州内で登山をしている、山と仲間を愛するグ  
ループだ。大塚さんはそこで、自分よりも年  
上の会員たちにたくさんの美しい世界を見せ  
てもらった。「野研の人たちがいたから、私は  
自然の美しさを知ることができました。きれ  
いな自然は、一人で見るよりもみんなで一  
緒に見た方がずっと良いということも教えて  
もらいました」と大塚さんは笑う。

自分は大好きな家族と友人、そして地域に育  
てられたのだと笑顔で話す大塚さんは、周囲  
への感謝と愛情を忘れない素敵な女性だった。

こころの声

▼6月に広報・広聴の  
研修に参加しました。  
広報担当になって2年  
目になりますが、知ら  
ないことや学ばなけれ  
ばならないことがまだ  
まだまだたくさんあること  
に気づかされる毎日で  
した。11日間の研修だっ  
たのですが、あつとい  
う間に終わってしまった  
感じがします。他県の  
広報・広聴担当者さま  
まざまま話ができたく  
とも、とても良い経験  
になりました。(1S)

▼入庁して3カ月が経  
ちました。光陰矢の如  
し、月日の流れの早さ  
に驚かされます。広報  
の製作を含め、さまざ  
まな仕事を通して、今  
まで知らなかった大  
津町の魅力を発見す  
るたびに、どんどん好  
きになっていきます。こ  
れからも大津町に対  
する好奇心を持ち続  
け、仕事にいかしてい  
きたいです。(NA)

今月のみどころ

九州北部豪雨災害を振り返って  
昨年の豪雨災害に対する検証と地域防災計画の  
見直しを行いました

大津まちおこし大学 学科生募集

クローズアップ大津人  
大塚麻里子さん

7  
JULY 2013